

国交省、ビジネスジェット、規制・手続き一部緩和、外国籍 BJ-国内間輸送も許可

国交省は、ビジネスジェットの利用拡大に向けて、規制や手続きを見直すほか、羽田空港や成田空港など首都圏空港で関連施設を拡充する。規制・手続き面では外国籍のビジネスジェットがチャーター運航によって日本国内を移動しやすいようにした。また、外国籍自家用ビジネスジェットが日本へ乗り入れる場合の許可申請期限を現行の 10 日前までから 3 日前までに緩和する。ビジネスジェットを用いたチャーター事業に対する新たな技術基準も近日中に設定する。日刊航空が報じた。

施設面では、羽田空港における政府要人や企業幹部などVIPの BJ に対する専用動線を新設するほか、成田空港会社も、ビジネスジェット専用ターミナルとスポットを結ぶ地上交通の短縮を図る。

また、国内間移動に関しては、同一搭乗者に限定した上で国際運航と一連の航行としての契約することなど一定の要件を条件に、外国籍のBJチャーター機による国内間旅客輸送を認めることとし、10 月 31 日から新たな運用を開始している。

(日刊航空)11/8

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>

成田空港、ビジネスジェット利用数、上半期 336 回、専用施設利用率 47.9%

成田国際空港株式会社が発表した、2013 年度上半期における成田空港でのビジネスジェット発着回数が 336 回だったと事が分かった。このうちビジネスジェット専用ターミナルの利用は 161 回。平均利用率は 47.9%で、2012 年度通年の利用率 54.7%に及ばなかった。

(日刊航空)11/8

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>

香港エクスプレス(LCC)、羽田へ就航、基本料金 1万 2700 円

海航集団(HNAグループ)傘下の格安航空会社(LCC)である香港エクスプレス航空は 8 日(7日深夜)、羽田—香港線に就航した。(羽田の出発時刻は午前0時半、香港到着は午前5時 45 分着) 21 日には関西国際空港—香港線も就航。また、2014 年には日本での就航地点をさらに2~3カ所増やす予定だ。

関空—香港線はすでに香港で予約の受け付けを始めており、予約が順調なため 12 月8日からは週4便増やして計 11 便体制にする。今後 1 年間の日本路線の旅客数は 35 万人を見込む。

なお、羽田—香港線の基本料金は1万 2700 円。フルサービスを提供する一般の航空会社の運賃に比べて 40~50%安いという。

使用機材はエアバス A320 型機(座席数は 174 席)。事前の座席指定は受け付けず、当日空港のチェックインカウンターで対応する。当面は足元のスペースがより広い「Sweet seats」は 2000 円で利用が出来、それ以外については、座席指定料金を無料とする方針。

日本に定期便を就航する LCC は 11 社目。羽田空港に乗り入れるのはマレーシアのエアアジアX に続いて2社目になる。

(日経)11/7

http://www.nikkei.com/article/DGXNASDD070JI_X01C13A1TJ2000/

(トラベルビジョン)11/7

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59482>

ジェットスター・ジャパン(LCC)、JTB のダイナミックパッケージでの販売提携

ジェットスターグループと JTB は7日、10 月 24 日から、JTB が運営する「るるぶトラベル」でジェットスター・ジャパンを利用したダイナミックパッケージツアーの販売を開始したことを発表した。

JTB とジェットスターグループの販売提携によるもので、JTB によると、日本国内で LCC を利用したダイナミックパッケージツアーはこれが初めて。

(トラベルビジョン)11/7

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59483>

(読売新聞)11/7

<http://www.yomiuri.co.jp/atmoney/news/20131107-OYT1T00941.htm>

日銀、増加する訪日外国人に関するレポート公表

日銀は7日、最近増加している訪日外国人について初のレポートを公表した。2012年後半以降に増加ペースが高まり、13年上半期は上半期ベースで過去最高の495万人（年率換算で1000万人弱）と増加しており、日本経済への寄与を調査した。日銀が訪日外国人をテーマとしてレポートをまとめるのは初めて。

レポートの中で、訪日外国人増加理由について 1) 東日本大震災直後の大幅な落ち込みからの回復、2) 円安、3) アジアの中間所得者層の増加、4) 東アジアを中心としたLCCの就航増加、5) 東南アジア各国とのビザ発給要件緩和——を挙げている。

また、訪日外国人による国内での財やサービスへの消費の名目国内総生産（GDP）に占める比率は0.3%程度と、欧米（フランス2.0%、米国1.0%、韓国1.3%、2012年）と比べて小さく、今後伸びる余地があると指摘。一方、訪日外国人の消費が全体に占める割合は宿泊業で約6%程度、小売業で約7%など、一部業種では大きなウエートを占めつつあるとも指摘している

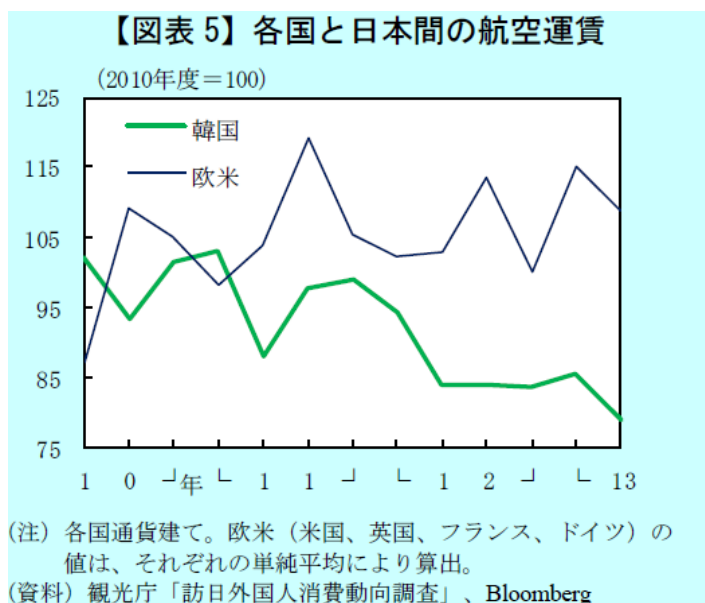
（ロイター）11/7

<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTYE9A605D20131107>

（日銀レポート）11/7

http://www.boj.or.jp/research/wps_rev/rev_2013/data/rev13j07.pdf

*日銀レポートより 4) 東アジアを中心としたLCCの就航増加 航空運賃の動き



応募 4 自治体、路線の必要性をアピール、羽田空港コンテスト枠

地方路線の活性化に向け優れた提案があった空港に羽田空港への路線を配分する国土交通省の取り組みで、応募した佐賀、山形、鳥取、石見の4空港の地元自治体が6日、路線の必要性などを同省にアピールした。

佐賀新聞によると、佐賀県の担当者は「企業誘致で大きな武器になる」と期待感を表明。山形県は「観光振興で東日本大震災からの復興に貢献できる」と羽田便が増える効果を強調した。島根県は「高速道路の整備が進んでおらず、航空路線の充実は不可欠だ」と訴えた。鳥取県は「来春の羽田国際線の増便による外国人観光客を取り込みたい」とした。

国交省は、配分決定まで各自治体が提案した活性化策は公表しない方針だが、空港への交通アクセス改善や、観光客の誘致に向けたPR、航空会社に対する補助などが想定される。

県などの自治体と航空会社の共同提案が条件で、山形空港は日本航空と、鳥取、石見、佐賀の3空港は全日本空輸と連携している。

(佐賀新聞)11/7

<http://www.saga-s.co.jp/news/saga.0.2577909.article.html>

関空、第一旅客ターミナル、大規模リニューアル、免税店拡大、新店舗誘致

新関西国際空港会社は7日、関西国際空港の第1旅客ターミナルを改装すると発表した。投資額は約80億円で、1994年の開港以来、初めての大規模改装。免税店エリアを4割広げて新店舗を誘致するほか、トイレやベビールームの美装化で居心地を良くする。安藤圭一社長は「今回の改装を単なるリニューアルに終わらせず、(空港の性能や価値の向上につながる)リノベーションにしたい」と語った。日経が報じた。

来年3月に着工し、8月から部分的に供用を始める予定。2015年3月末にグランドオープンする。新関空会社は今回の増床で60億~70億円程度の増収効果を見込んでいる。

(日経)11/8

<http://www.nikkei.com/article/DGXNZO62275820Y3A101C1LDA000/>

中国当局、航空券価格下限を撤廃

(財形新聞によると)

中国民用航空局は 6 日、国内線の航空券に実施している価格下限規制を撤廃すると発表。一方、価格上限(基準価格を 25%上回る)規制は据え置かれた。

各地で高速鉄道の開通に伴い、鉄道を選択する消費者が増加していることが規制撤廃の背景。民航局は、今回の措置について、価格規制に対する政府の指導を最小限に抑え、航空会社の競争力を高めるためだと説明した。業界専門家は、今後はキャンペーンとして 1 元(約 16 円)航空チケットが販売される可能性があるとの見方を示した。

(財形新聞)11/7

<http://www.zaikei.co.jp/article/20131107/161218.html>

ビーマン・バングラデシュ航空、ダッカーヤンゴン線、7 年ぶりに運行再開

ビーマン・バングラデシュ航空は、12 月 9 日から 7 年ぶりに、ダッカーヤンゴン線を再開することが明らかになった。使用機材はボーイング 737-800 型(座席 165 席)、週 2 便での運航を行う。

急速な経済発展を遂げているヤンゴンは、バングラデシュにとって商業的な魅力が高まっている。また、バンコクやクアラルンプールへの乗り換え拠点として需用の取り込みを狙う。

また、ミャンマー航空管理局は、バングラデシュのユナイテッド・エアウェイズにも同路線の運航許可を与える方針を示している。

なお、現在、ヤンゴン国際空港には海外の航空会社が 24 社乗り入れており、毎日平均 1800 名の外国人訪問客が利用している。

(ミャンマー新聞)11/7

<http://myanmarnews.jp/?p=7448>